

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 2 週間 Day 1.....15(=Day1)
ベバシズマブ	5 mg/kg	↓
オキサリプラチン	85 mg/m ²	↓
レボホリナート	200 mg/m ²	↓
フルオロウラシル bolus	400 mg/m ²	↓
フルオロウラシル 持続	2400 mg/m ²	↓ 1 日目から 46 時間持続投与

レジメンオーダー以外に必要な処方

必要時（制吐剤予防投与）：day2～：デキサメタゾン（デカドロン）4～8mg 1×朝 2 日間 内服

ベバシズマブ：尿タンパク測定

注意事項

オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与です。

投与方法：1 日目～		
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たし、メインルートを止める	
2	グラニセトロン 3mg/100mL 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、下の側管から投与	
3	<u>ベバシズマブ</u> _____ mg, 生食 100mL 90 分、（問題なければ）次は 60 分、（問題なければ）以降 30 分、下の側管から投与 注意：点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与（初回扱い）	
4	<u>レボホリナート</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、下の側管から投与 オキサリプラチンと同時に開始	<u>オキサリプラチン</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートから投与 レボホリナートと同時に開始
5	<u>フルオロウラシル</u> _____ mg, 生食 40mL 全開で投与、ケモセーフロックのルートから投与	
6	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄	
7	<u>フルオロウラシル</u> _____ mg, 生食、全量 210mL 5 mL/時、46 時間かけて ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与	